

岩見沢市総合計画基本計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

（意見募集期間 平成30年2月1日（木）から2月14日（水）まで）

1 提出者数 6人（男性5人 女性1人）

2 基本目標別の意見数（原則として基本施策単位）

区分	意見数
【基本目標1】地域で支え合う 安全・安心なまち	2件
【基本目標2】みんなが健康で元気に暮らせるまち	3件
【基本目標3】活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	7件
【基本目標4】豊かな心と生きる力をはぐくむまち	3件
【基本目標5】自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	1件
【基本目標6】市民とともに創る 持続可能で自立したまち	1件
その他	2件
計	19件

岩 見 沢 市

岩見沢市総合計画基本計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント） 結果

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
1 女性	その他	産業創出し人口減対策という道新の記事を読んで、永い間あためていたことの一つを提案したいと思いい資料を同封します。 (以下、提出者及び当該資料の作成者が特定される内容を含んでいるため、記載を割愛させていただきます。)	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
2 男性	4 豊かな心と生きる力をはぐむまち (4) 芸術文化・スポーツの振興	芸術文化への提案をします 岩見沢市から生まれた動画があります 今巷で話題の たちばな出版の深見東洲さんの動画です (以下、提出者が特定される内容を含んでいるため、記載を割愛させていただきます。)	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
3 男性	3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち (6) 移住・定住の促進	移住・定住施策の推進にあたっての提案 安定した雇用 第一ステップとして、岩見沢市内の雇用拡大よりも毎年増加している他の地方から札幌市内への転入者をターゲットとして岩見沢市へ重点的に呼び込み、札幌市のベットタウン化を目指す。 札幌市への就職者に対して、関係機関（空知支庁、ハローワーク等）を活用して岩見沢市の優位性をPRしていく。 将来は、札幌市内で培われた人脈やスキル・技術を岩見沢市内に起業、転職等で還元してもらおう。 快適な居住環境 転入者への住宅は、賃貸住宅と戸建住宅の2通りが考えられるが、どちらも岩見沢駅を中心として展開することにより、まちなか賑わいも期待できる。 住宅の玄関からJR札幌駅まで60分以内であれば、札幌市内の郊外と比較しても見劣りしない。 札幌市と比較しての居住環境の優位性および経済的優位性を具現化してPRしていく。 賃貸住宅は、現在のJR岩見沢駅の旧操車場を開発できないだろうか。 戸建住宅は、岩見沢駅近郊を開発し、パーク&ライド方式を利用してもらい通勤定期所有者には駐車場を無償提供する。 戸建住宅を従来のような、幌向や上幌向地区ではなく岩見沢駅近郊にするのは生活の利便性と子供の教育を考慮してである。	・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
		<p>課題は、近郊市町村との宅地価格の優位性を作り出せるかである。</p> <p>若い世代にもマイホームの夢を持ってもらう。</p> <p>交通インフラ</p> <p>岩見沢市の交通インフラの強みはJRである。昨今のJR北海道の状況を考えれば、地方の住民から見れば岩見沢は羨ましいに違いない。</p> <p>この優位性を利用し、地方の住民を呼び込みJR利用者数を増やす。これによって列車本数増(特に、室蘭線)も期待できる。</p> <p>市内交通インフラについては、昨今のバス運転手不足という状況で、大型車両による運行が年々難しくなると思われる。二種免許不要で安全装備された小型バスで営業ができる特区指定を受ける。</p> <p>他の自治体で試験中の無人走行バスシステムよりも現実的である。</p>	
4 男性	その他	<p>新しい総合計画の「基本計画(素案)」及び昨年11月に公表された「基本構想(素案)」を含む構成全体について意見を述べます。</p> <p>【基本構想(素案)】【基本計画(素案)】ともにそれぞれが細かく項目立てされるなど読みやすくする工夫は評価できます。しかし、今後の新しいまちづくりを進めるための「総合計画」としては説得力に乏しい印象を受けました。</p> <p>岩見沢市を取り巻く自然的・歴史的・社会的現状についての把握や分析が十分ではなく、岩見沢市のあらゆる計画の最上位の計画としてこの先10年の展望を描き切れていないように思います。</p> <p>平成28年1月に策定した市の「人口ビジョン」や「総合戦略」も斟酌しながら、岩見沢市民が共通の認識とすべき「課題と方向」をとりまとめ基本構想の前に追加すべきだと思います。その際、考えられる項目として次のことがあげられます。</p> <p>【岩見沢市を取り巻く諸課題と進むべき方向】</p> <p>1 世界の流れと日本の流れ</p> <p>グローバル化、人口増加と食糧・水資源供給の制約、急速な人口減少と少子化・高齢化、地方再生の動き、日本経済の動向、経済の停滞と厳しい雇用状況、岩見沢経済の動向、地方自治の自立と地域主権、市民が共感するまちづくり</p>	<p>・総合計画では、「第1部 序論」の中の「第2章 計画策定の背景」におきまして、次の3点にわたる整理を行いました。なお、総合計画(案)を市ホームページ(第8回総合計画策定市民会議)に掲載しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時代の潮流 2 まちづくりの主要な課題 3 市民の意見 <p>・また、その前提となる基礎調査につきましても、市ホームページ(第1回総合計画策定市民会議)に掲載しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎データ分析報告書 2 新岩見沢市総合計画庁内評価報告書 3 市町村合併検証報告書 4 市民意識調査結果報告書 5 まちづくり団体意識調査結果報告書

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
		<p>2 岩見沢市の現状と将来の見通し</p> <p>地勢、気候、沿革、市域の変遷、人口の推移、世帯数、自然動態、社会動態、観光客数、域内総生産、経済の特徴（産業別構成）、市民意識（住みやすさ・思い描く将来のまちの姿・市民の施策別満足度）</p> <p>3 将来の都市像とまちづくりの基本姿勢</p> <p>10年の期間にこだわらずに、20年・30年の長期展望も考慮する。</p> <p>こうした課題と方向の分析の上に、人口や地域経済、福祉、文化等の具体的施策・目標を設定すべきだと思います。</p>	
5 男性	<p>1 地域で支え合う 安全・安心なまち</p> <p>(1) 地域防災力の向上</p>	<p>これから建設される新市庁舎が防災の拠点となるよう、人的物的集積が可能な建築として考えていってほしい。そのためにはどれくらいの規模の災害についてどのくらいの物資や人の集積があり、どの程度の準備物資の備蓄が必要であるのか、しっかりとしたシュミレーションを行い、新市庁舎を頂点とした各地域の防災拠点へのネットワークを構築していく必要があるだろう。できればドクターヘリや物資の輸送として活用できるようなヘリポートなども新市庁舎として備えていると、岩見沢だけでなく南空知の防災拠点として活用することが可能であると思われる。</p> <p>またシュミレーションとしての各地域における防災訓練の実施も欠かせない。そのためには地域活動としての町内会活動や、小中学校、高校との連携などをわかりやすく図にして各町会にまで浸透させ、共助の基本にはまずもって自助があること、自分の身をどうやって自分で守るかといった意識づけが行われるようなネットワーク作りも必要と思われる。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
	<p>2 みんなが健康で元気に暮らせるまち</p> <p>(1) 健康づくりの推進</p>	<p>北海道大学との連携で行っている COI の実績が、見えにくい。せっかく産学官の連携で行っている素晴らしい事業であるので、もう少し市民に浸透させることで、「健康経営都市宣言」の実践がより幅広く促進されると思われる。</p> <p>また、そのための一つの方法として「健康ひろば」の更なる活用が望まれる。たまたまかもしれないが、職員の数のほうが利用者数より多いと感じる。「隼より始めよ」の言葉通り、市役所職員が自ら健康づくり・健康管理のために「健康ひろば」を活用するようにはどうか。例えば利用時間の延長をすることで、市</p>	<p>・北海道大学COIの実績等について 広報をはじめ、町連や保健推進会、健康と福祉を高める市民会議などの団体と連携し周知しているところですが、更に市民への周知に努めて参ります。</p> <p>・健康ひろばの活用について 昨年4月にオープンした健康ひろばでは、開館日に健康測定ができるほか、測定</p>

基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
	<p>役所職員のみならず一般サラリーマンが仕事後に活用できるようにもなり、COI のデータ集積にも役立てることができると思う。自ら実践し、PR することで、より幅広い周知と利用者数の増加が見込まれると考える。</p>	<p>結果を踏まえて保健師や管理栄養士がアドバイザーする「健康チェックの日」、子どもから高齢者までを対象としたイベントを行う「北大COIの日」をそれぞれ週1回、管理栄養士による栄養講話や健康料理を紹介する「フードデイ」を月1回実施しています。また、各種健診やひやっぴい体操教室などの保健事業も随時実施しており、H30.2月末現在で、約12,000人の方にご利用いただいております。</p> <p>今後、更なる利活用を図るため、市民のニーズ把握やPRなど、より幅広い世代の利用増加に向けた取組みを推進して参ります。</p> <p>・職員の健康ひろば活用について ご指摘のとおり、健康経営を実践する上で、職員の健康はととても重要であるため、今後も健康ひろばの活用による職員の健康づくりに努めて参ります。</p>
<p>(2) 高齢者福祉の充実 (3) 障がい者福祉の充実</p>	<p>「本市はノーマライゼーションの理念のもと」とあるが、市長の発言ではインクルージョンやダイバーシティといったお話も出てきている。どちらかというとインクルージョンがノーマライゼーションを包摂する概念であると思われるので、高齢者や障がい者を含めた大きな視点から、同じ社会の中で包み込み合う社会の構築までも目指して取り組んでほしい。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
<p>3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち (1) 農林業の振興</p>	<p>農業後継者の育成や農業所得の向上のためには、農業に関わる若者の意識向上が欠かせないと思われる。しっかりと働いた成果が市内外にしっかりと伝わり高い評価を得られることで高い収入へと結びつき、高いモチベーションへとつながる。そのためには岩見沢市が誇る農業者の成果品である農産物を市内外にPRする「道の駅」のような場を設える、あるいは誘致することが必要であろう。そしてその場は他の道の駅のような一辺倒のものでなく、岩見沢市が誇る芸術・美術の成果を発揮したものであると、より差別化が図られ</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>

基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
	るとともに岩見沢市をさらに PR することができるのではないかと。	
(2) 商工業の振興と中心市街地の活性化	<p>「総合的な取り組みが必要とされています」とあるが、まさにその通りであるが、その実施については個店個店に丸投げしているところは、ないだろうか。確かに個人企業に行政として個別に援助の手を差し伸べることはできないだろうし、必要もないが、例えば「通り空間の景観の形成」「公共交通機関」「サービス機能の集積」などは行政と地域商店街がともに力を合わせなければ進まないものであり、その方向性と思い描くランドデザインを共有することで初めて実現すると思われる。そんな中でコンサルを呼んで話し合うだけで結果を誘導しないで終わりといった場が多いのは、単なるガス抜きにしかになっていないと感じる。確かに商店街側もしっかりと意志をもって行政とタッグを組んで商店街再生に取り組んでいく必要があり、そのための人材育成も進めていく必要を感じているであろう。あるいはもはや商店街の再生を目指すのではなく、「集積」をすすめて商店街の再編成をする時期に来ているのかもしれない。そんななかでやはり目標数値となるまちなか歩行人数や回遊率を高めるためにも、行政が自ら歩を進め、市民連携に関わる部署を思い切ってあえーるなどの商業施設に移設することを考えるのはどうであろうか。行政と地域商店街の顔を突き合わせた「顔の見える連携」が、これからの商店街復興には必要であると考えている。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取り組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
(3) 新産業の創出と企業立地の推進	<p>ICT 事業の基盤となると言っている「自治体ネットワークセンターをはじめ、テレワークセンター や新産業支援センター、IT ビジネスセンター、クラウド型データセンター等の関連施設」がどの程度利用され、活用され、市の高度情報化施策に生かされているのか、市民への情報開示が少ないと思われる。高いお金をかけて作ったのであるから、しっかりとその成果を開示してほしい。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取り組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
(5) 地域資源を活かした観光の振興	<p>「メープルロッジをを本市の観光戦略の拠点施設と位置づけ」とあるが、岩見沢を訪れる人たちを車での移動がメインと捉えているのだろうか。もう一か所、例えばグッドデザイン賞をとった岩見沢駅を中心とした地域に観光資源を発掘することで、公共交通機関での観光客と車での観光客との両面を包摂することができるか。あるいはその両所をつなぐシャトルバスの運行、そしてそのシャトルバス内における四季それぞれの観光名所をビデオ上映することによって、次の季節も訪れるきっかけをつくるなどできるのではないかと。</p> <p>複数回訪れることによって受けられる特典などもあると面白い。</p> <p>ナインティック社のインGRESやポケモン GO、そしてそのデータを基にして開発が進んでいるハリポッターなど、観光名所めぐりや街歩きにピッタリなスマホのアプリ利用、あるいは岩見沢の観光専用のアプリなどの開発などがあるとさらに面白いと考える。たとえば指定箇所ですら自撮りした時にいわみちゃんやイワ</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取り組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
		くんが写りこむようなアプリや、常に Wi-Fi から岩見沢の情報もたらされるような市内限定の Wi-Fi スポットの設定など。札幌の Wi-Fi のように利用には登録制とし、一度の利用が30分などと区切ると、観光者のデータも集められ、個人情報の扱いの難しさもあるが、その後のプロモーションなどを仕掛けることもできるのではないかと。	
	(6) 移住・定住の促進	「シティプロモーション」の取り組みの方向性として、市民対象として掘り起こすだけでなく、例えば行政として他所へ出向している職員による「外から見た岩見沢」であるとか、市外から移り住んでいる市民、国外から岩見沢に移住したり働きに来たりしている人たちを対象にした岩見沢の魅力の掘り起こしをこそ行うべきと考える。今のままでは市内に住む人による市内の魅力の発掘となり、「まちづくり活動」でその初期にたびたび行われる「地元へのまなざしの掘り起こし」で終わってしまうことを心配している。	・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取り組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
	4 豊かな心と生きる力をはぐむまち (4) 芸術文化・スポーツの振興	「学生が地域との関わりを深めることにより、まちの活性化につながるような取り組みを支援します。」とあるが、実際は北海道教育大学岩見沢校のビジネス専攻の学生がゼミのようにして前期後期と15名ずつ、農村・まちなかでのイベントを企画・協働しているにとどまっている。毎年一回きりのイベントとなっており、次年度への継続性に問題があると思われるため、産学官の連携の要素として行政からも取り組みを始め、学生とまち、行政がブロックを一つずつ積み上げてまちを創っていくような、その成果が少しずつでも残っていくような取り組みとして長期計画・中期計画をたてて実行することで、まちづくりを実感するとともに、まちに愛着を持つことができ、やがて学生自身が岩見沢に住み、働くことのきっかけへとつながることも考えられる。また学生の自由な発想によってまちなかや農村部に新たな産業を立ち上げることにつながることも十分に考えられる。検討してほしい。	・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取り組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
6 男性	1 地域で支え合う 安全・安心なまち	① 6 ページ最終行) 「救急車の適正利用の」の後に「意識」を入れ、「意識啓発」としてはどうか。 ② 7 ページ1行目) 「高齢化の進展」を「高齢化の進行」としてはどうか。 ③ 9 ページ5行目) 「低下傾向にあり」の次に接続詞「また」を入れてはどうか。 ④ 9 ページ9行目) 「人材の育成を図る」を「人材の育成及び資質の向上を図る」としてはどうか。 ⑤ 10 ページ2行目) 「意識づくり」を「意識啓発」としてはどうか。 ⑥ 12 ページ9行目) 「人選の多様化を進めます」を「選任の多様化を図ります」に改めてはどうか。	・ご指摘のあったご意見を踏まえ、計画書の再精査を行い、以下の修正等を行いました。

基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
2 みんなが健康で元気に暮らせるまち	① 14 ページ 4 行目 「定着を推進する」を「定着化を図る」としてはどうか。 ② 17 ページ 6 行目 「障がいのある人もない人も <u>区別されることなく</u> 」のうち、下線部を削除してはどうか。 ③ 21 ページ 5 行目 「高位」を「上位」としてはどうか。 ④ 24 ページ 13 行目 「病院経営」から「病院」を削除し、単に「経営」としてはどうか。	① 「定着化を図る」としました。 ② ご指摘のとおり修正しました。
3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	① 29 ページ 1 行目 「又は」を「または」としてはどうか。 ② 29 ページ 11 行目 「都市との～」の部分は意味不明であり、文言整理が必要 ③ 29 ページ 12 行目 「強みを優位点や」を「強みや優位点を」としてはどうか。 ④ 31 ページ 4 行目 「札幌等」を「札幌市等」としてはどうか。 ⑤ 31 ページ 9 行目 「高齢化や人口減少」を「人口減少や高齢化」としてはどうか。 ⑥ 37 ページ 4 行目 「長き」を「長年」としてはどうか。 ⑦ 38 ページ 4 行目 「国際化」を「国際交流」としてはどうか。	① 「または」としました。 ②③文章全体を見直しました。 ④ 「札幌市など」としました。
4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち	① 41 ページ 13 行目 「入学定員」を「入学定員数」または「入学定員枠」としてはどうか。 ② 42 ページ 10 行目 「緑陵高等学校」の語頭に「市立」としてはどうか。	
5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	① 48 ページ 4 行目 「市街地近郊」を「市街地周辺」または「市街地周辺部」としてはどうか。 ② 50 ページ 4 行目 「歩行者や自転車にとっても」の「も」を削除してはどうか。 ③ 53 ページ 10 行目 「下水処理場」は正式表記（南光園）としてはどうか。 ④ 53 ページ 12 行目 「健全経営を維持していかなければなりません」を「維持を図ります」としてはどうか。 ⑤ 56 ページ 施策のめざす姿「まちを訪れる人や市民に」について、「市民はもとよりまちを訪れる人」など表現を工夫してみてもどうか。 ⑥ 58 ページ 10 行目 「小中学生等を対象とした環境教育」について、高校生の扱いが不明（「等」が付いているから含まれているともいえるが）	① 「市街地に近接する」としました。 ③ 「南光園処理場」としました。 ⑤ 「市民やまちを訪れる人にも」としました。
6 市民とともに創る 持続可能で自立したまち	① 63 ページ 1 行目 「進展する中」を「進展に伴い」としてはどうか。	

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています。（明らかな誤字等と判断されるものを除く）